

建専 5-10
令和5年5月29日

建専連加盟会員団体 代表者 様

一般社団法人 建設産業専門団体連合会
会長 岩田 正吾
(公印省略)

建設業界の働き方改革に対する取組について (依頼)

日頃から、当連合会の活動にご理解をいただきありがとうございます。

建設業界は、就職先として選択されていないという大きな課題に関係団体が丸手となって取り組むものと認識しております。当連合会も現場技能者の処遇改善により、若者から選ばれる職業となれるようそれぞれのお立場から可能な取組を実践していただいていると認識しております。

さて、近年の猛暑は建設現場の施工環境下の労働者にとって過酷なものとなっております。当連合会理事会内では、職場の健康管理や入職前の若者の労働条件の趣向の観点から、夏季(7・8・9月)の完全週休2日の実施を強化期間又は試行という形で意識をもって取り組むことについて賛同を得ているところです。こうした中、去る4月27日、日建連様において「建設現場の4週8閉所」の取組の強化月間として夏季(7・8・9月)の一層の取り組みを日建連会員代表者あて依頼が発出され、元請け企業のご理解も進んでいくものと感じており、当連合会会員各団体におかれましても、当該期間を建専連の「夏季週休二日期間」として、可能な取組をお願いするものであります。

なお、取組の実効性を確保するためには、元請け企業のご理解が必須であるため、(一社)全国建設業協会様に本取り組みへのご理解とご要請を行ったところです。

建設業界への担い手確保のため若者のニーズにあった労働環境への転換も重要であり、建設業界が丸手となって推進しなければならない課題としてこの旨をご理解をいただき、実行を試みていただくようお願い申し上げます。